

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社Hajimari)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得証拠があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			弊社は、「自立した人材を増やし、人生の幸福度を高める。」というビジョンを掲げ、自立をする人を支援すると同時に、弊社社員も自立することを目標として事業活動を行っています。社内では毎月1回上長による1on1を必ず行っており、悩みを相談する時間を設けています。採用は性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を行うことなく行っており、実際に様々なバックグラウンドの社員が現在働いています。万一人権侵害にかかわる事象が発生した場合に、従業員が通報できる窓口を設置しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			弊社は、「自立した人材を増やし、人生の幸福度を高める。」というビジョンを掲げ、自立をする人を支援すると同時に、弊社社員も自立することを目標として事業活動を行っています。社内では毎月1回上長による1on1を必ず行っており、悩みを相談する時間を設けています。採用は性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を行うことなく行っており、実際に様々なバックグラウンドの社員が現在働いています。万一人権侵害にかかわる事象が発生した場合に、従業員が通報できる窓口を設置しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本		【予定】	1.勤怠システムを活用した稼働時間の適正な把握により全従業員が日々の出退勤時刻を正確に記録するため、勤怠システムを導入・運用しております。これにより、各従業員の稼働時間をタイムリーに把握し、長時間労働の兆候を早期に発見できる体制を構築しております。 2. 残業時間超過に対するシステムアラートと管理 勤怠システムには、事前に設定された残業時間の上限を超過した場合に、本人および上長にシステムアラートが自動通知される機能を実装しております。これにより、残業時間の超過を未然に防ぎ、必要に応じて上長が適切な指導や業務調整を行うことを徹底いたします。 3. 在宅勤務におけるワークライフバランスへの配慮 在宅勤務制度を導入し、従業員のワークライフバランスに配慮した就業環境の整備に努めております。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			新入社員研修を通じて、従業員への人権侵害に関する教育を実施しています。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本		【予定】	従業員の代表、産業医、安全衛生管理者等で構成される安全衛生委員会を毎月実施いたします。作業現場における潜在的な危険性の有無の確認と評価、過去の労働災害やヒヤリハット事例の分析と再発防止策の検討、労働時間の実態把握と長時間労働による健康リスクへの対策及び衛生管理状況の確認と改善を行います。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			外部のサービスを利用して社員のメンタルヘルス状態を定期観測しています。問題があれば経営会議の議題としてとりあげ、随時対応しています			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			弊社は多様な人材が能力を最大限に発揮してイノベーション創出や価値創造することを目指して機会均等を図り、ダイバーシティを積極的に推進しています。性別を問わずその能力を最大限に発揮し、活躍の場が広がるよう、ポジティブアクションを推進しています。能力・意欲に基づき女性の管理職への登用を進めています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							

環境	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本		弊社は兼務文化を大切にしており、興味のあることに挑戦できる機会を増やしています。			4	5.5		8	9						
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本		弊社は年齢や性別、住んでいる地域によって勤務条件や賃金を変えることはしておりません。				5.5		8.5	10.2 10.3						
	0	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】	東京都情報サービス産業健康保険組合「健康企業宣言」を行う予定です。		3				8							
	1	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本		リサイクルの推進に取り組んでいると同時に、そもそも廃棄物を出さないようにクラウドによるオンライン化を進めています。							11.6	12.4		14.1			
環境	2	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		排出量を算定し、エネルギー使用計画を立てています。長野県地球温暖化対策条例制度への登録を進めています。					7.3					13			
	3	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		排出量を算定し、エネルギー使用計画を立てています。長野県地球温暖化対策条例制度への登録を進めています。					7.2 7.3			12.4	13.3				
	4	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		弊社では現在、有害化学物質を使用していません。今後使用することがあれば随時対応します。		3.9		6.3			11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定します。						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			弊社では地球環境宣言に則り、限りある資源の有効活用のために、廃棄物の排出量削減、再資源化、適正処理を実施しています。												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	自社の水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定します。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	弊社の適した環境マネジメント規格を取得する予定です。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	HPで環境情報を公開します。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	再生可能エネルギーの利用に取り組みます。							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	天然資源の持続的利用に配慮します。												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			弊社ではコンプライアンスを遵守して透明性のある経営を宣言しています。															16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			弊社ではコンプライアンスを遵守して透明性のある経営を宣言しています。																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			弊社では商標登録、特許の検討など知的財産保護に積極的に取り組んでいます。								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			弊社では2016年にプライバシーマークを取得し、運用しています																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		弊社では紛争鉱物を扱っていません。																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先との対応を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行います。				5			8		10			12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	HPで環境情報を公開します。			3				8	9	10								17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			弊社ではサービス利用時に想定されるリスクを洗い出し ており、顧問弁護士監修で対策を行っています。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			弊社では日々サービス改善に取り組んでおり、お客様の 声に耳を傾けるようにしています。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	環境に配慮した製品の開発・設計に取り組めます。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	熱意を持って意欲的に働く人が少ないという日本の ソーシャルイシュー解決に取り組んでいます	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			自治体と対話する機会を多く持ち、対話に基づき事業 の地域への影響の把握を行い改善に努めています。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	企業版ふるさと納税及び今後働く環境改善や若い世 代への政策奨学金を負担する企業の支援事業に通年 で寄付の実施予定です。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレン ジ		【予定】	地域の原材料を優先的に利用します。								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			弊社は、「自立した人材を増やし、人生の幸福度を高 める。」というビジョンを掲げ、社内でも共有しています。 HP上でも公開しています。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			弊社ではコンプライアンスを遵守して透明性のある経営 を宣言しています。社内向けのコンプライアンス研修を 実施します。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本			社内でCSR管理者を任命しています。																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ す影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステーク ホルダーへの影響を把握し、適切に対応しています																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレン ジ		【予定】	リスクマップを作成して評価します。																16	
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん でいる	チャレン ジ		【予定】	CSR方針を策定し、CSRマネジメントプロセスを整備しま す。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン ジ		【予定】	事業継続計画（BCP）を策定します。								9		11		13 13.1				16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレン ジ		【予定】	後継者候補を選出し、後継者育成計画を作成します。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定